

相模原マンドリン倶楽部

第 28 回定期演奏会



第 27 回定期演奏会 撮影 テスムジカ

2012 年 10 月 27 日（土）14:00 開演

グリーンホール相模大野大ホール

後援：相模原市・相模原市教育委員会

♪ ご挨拶 ♪

本日はお忙しい中、第28回定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。

1977年に部員13人で発足した相模原マンドリン倶楽部は、今年で創部35年、部員も60人を超え、オーケストラ編成での合奏を楽しんでおります。

第2部で演奏します「コンチェルト・ファンタジー」は、ピアノとマンドリンオーケストラが互いに「掛合い」、「競い合い」、そして「融合」する協奏曲です。今回初めて協奏曲に挑戦いたしますが、マンドリンオーケストラの醍醐味をお楽しみください。

今後もマンドリン音楽に対する深いご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

部長 小澤健二郎

♪ 演奏曲目 ♪

第I部

指揮：宮本 皓永

1. 歌劇「皇帝ティートの慈悲」序曲 作曲：W. A. モーツァルト
編曲：宮本 皓永
2. ポール・モーリア 思い出のファンタジー
 - ・恋はみずいろ 作曲：A. ポップ 編曲：宮本 皓永
 - ・オリーブの首飾り 作曲：C. モルガン 編曲：宮本 皓永
 - ・薔薇色のミニエット 作曲：P. モーリア 編曲：中西 茂樹
 - ・蒼いノクターン 作曲：P. モーリア 編曲：宮本 皓永
 - ・シバの女王 作曲：M. ローラン 編曲：宮本 皓永
3. マンドリン・オーケストラの為のpromenade I
作曲：加賀城 浩光

-----休憩 15分-----

第II部

指揮：新井 義輝 客演指揮

1. コンチェルト・ファンタジー 作曲：B. A. アレクサンドロフ
ピアノ：矢澤 一彦 編曲：帰山 栄治
2. ロシア民謡曲集
 - ・カチューシャ 作曲：M. ブランテル 編曲：新井 義輝
 - ・ともしび 民謡 編曲：新井 義輝
 - ・トロイカ 民謡 編曲：久保田 孝
 - ・カリンカ 作曲：I. P. ラリオーフ 編曲：久保田 孝
3. スラヴ行進曲 作曲：P. I. チャイコフスキー
編曲：久保田 孝

♪曲目紹介♪

歌劇「皇帝ティートの慈悲」序曲 (La Clemenza di Tito K.621)

作曲：ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (Wolfgang Amadeus Mozart; 1756～1791)

モーツァルトは、オーストリアの作曲家、演奏家、古典派音楽の代表であり、ハイドン、ベートーヴェンと並んでウィーン古典派三大巨匠の一人で、多くの作品を残しています。このオペラは、神聖ローマ皇帝レオポルト2世がプラハで行うボヘミア王としての戴冠式で上演する演目として、ボヘミアの政府から作曲が依頼されたものです。戴冠式の演目には「君主の慈悲」をテーマとしたオペラ・セリアが相応しいとされた為であろうと言われています。

ポール・モーリア思い出のファンタジー

ポール・モーリア (Paul Mauriat; 1925～2006) は、フランスの音楽家で、「ポール・モーリア・グランド・オーケストラ」を結成し、「ラブ・サウンドの王様」とも呼ばれ、イージーリスニング界の第一人者として有名です。世界的にヒットした「恋はみずいろ」以後も「蒼いノクターン」「オリーブの首飾り」等と立て続けにヒットを重ねました。

恋はみずいろ (L'amour est bleu) 作曲：アンドレ・ポップ (Andre Popp)

ヴィッキーが歌った1967年度ユーロビジョン・ソング・コンテスト4位入賞曲です。

オリーブの首飾り (El Bimbo) 作曲：クロード・モルガン (Claude Morgan)

日本では、手品のバックミュージックとしても知られています。

薔薇色のミニエット (Minuetto) 作曲：ポール・モーリア (Paul Mauriat)

テレビドラマ「女の言い分」のテーマ曲に使用され、CDシングルとして発売されました。

蒼いノクターン (Nocturne) 作曲：ポール・モーリア (Paul Mauriat)

来日コンサートのアンコール曲として演奏されることが多かったようです。

シバの女王 (La Reine de Saba) 作曲：ミシェル・ローラン (Michel Laurent)

ラジオ番組「バック・イン・ミュージック」でエンディングとして使用されました。

マンドリン・オーケストラの為のpromenade I (Promenade I for Mandolin Orchestra)

作曲：加賀城浩光 (Kagajou hiromitsu; 1961～)

加賀城浩光氏は大学在学時にマンドリンクラブに在籍しマンドリン演奏と作曲を始め、マンドリンバンド「ブルーメサ」、マンドリンデュオ「アコースティックボーイズ」の活動を経て、現在、楽団「promenade」主宰、マンドチェロ奏者としても本格的に活動され、新ジャンルを生み出すべく新たな楽器の企画、新曲の作曲に意欲的に取り組んでおられます。

「曲は5拍子のリズム及びメロディーによって導かれ展開されていきます。5拍子は普段耳にする事の少ない拍子ですが、流れにのると3拍子や4拍子と同じように自然に聴くことができると思います。本曲はこの5拍子を基本に、スタンダードな拍子との違いによる効果を期待して作曲しました。そもそも本曲で出てくるモチーフは、東京に行った際に時間の流れの速さ感じて作ったものです。都会の時間は期待や不安、喜び悲しみをすべて飲み込んでしまっているようでした。それらを表現したくて音符を並べてみたのがこの作品です。私は曲を書く時はいつも「メッセージのあるものを」と考えています。この作品をお聴きになられた方がいろんなシーンを感じて頂ければ嬉しく思います。」 (作曲者記)

コンチェルト・ファンタジー (Concerto-Fantasy)

作曲：ボリス・アレクサンドロヴィチ・アレクサンドロフ

(Борис Александрович Александров; 1905～1994)

アレクサンドロフは、ソ連人民芸術家の称号をもち、2つのレーニン勲章、労働赤旗勲章、ソ連国家奨励金賞などを受章した作曲家です。作品には、バレエ曲・オペレッタ・合唱曲・2つの交響曲協奏曲などと多岐にわたり、オペレッタ「リノフカの婚礼」は、そのジャンルで最も人気を呼びました。本曲のコンチェルト・ファンタジーは、3つの挿入曲からなる一楽章のピアノ協奏曲であり、1955年に作曲され、晴れやかで荘重なカデンツァ風ピアノ・ソロによる序奏に始まり、テーマがオーケストラに引き継がれ、ピアノとオーケストラが掛け合い、さまざまに展開します。この曲は、ロシアの民族歌曲から成るもので、チャイコフスキーも、「大序曲1812年」のなかで用いています。原曲は、バラライカ・オーケストラの為に書かれています。

ロシア民謡曲集

ロシア民謡は、ロシアの民俗・伝承に基づく叙情歌をさしますが、近代以降の俗謡や歌曲などを広義に含み、実際にロシア民謡として扱われるジャンルは多岐にわたっています。情緒的でナイーブなメロディーは日本人の感情にもマッチして親しまれています。

カチューシャ (Катюша) 作曲：マトヴェイ・ブランテル (Матвей Блантер)

戦場に赴いたまま帰らぬ恋人をしのんで故郷に淋しく待っている娘の姿を歌っています。

ともしび (Огонёк) 民謡

軍人として立ち去る男とそれを見送る女の情景を歌っています。

トロイカ (Тройка) 民謡

金持ちに恋人を奪われた若い馭者の悲しみを歌った哀切な歌です。

カリнка (Калинка) 作曲：イワン・ペトローヴィチ・ラリオノフ

(Иван Петрович Ларионов)

エネルギーに速度を増していく「速歌」と呼ばれる躍動的な合唱部分と、ゆっくりした幅の広い独唱部分が交互に現れて、面白い対比をなしています。

スラヴ行進曲 (Славянский Марш на народно Славянские темы)

作曲：ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー (Пётр Ильич Чайковский; 1840～1893)

チャイコフスキーは、ロシアの誇る大作曲家であり、バレエ音楽をはじめ、数多くの大作・名作を生み出しています。1876年に勃発したトルコとセルビアの戦争は、セルビアを支援するロシアとトルコの戦争に発展し、師でもあったニコライ・ルービンシュタインは、兵士を励ますための音楽会を開催することにし、そこで上演する曲をチャイコフスキーに依頼し、それを受け翌年1877年に完成したのがこの「スラヴ行進曲」です。この曲はロシア人の愛国心を高揚させるような仕上がりとなっており、エキゾチックな魅力と力強さがコンパクトにまとまって、演奏効果も大変上がる曲で現在でも大変人気の高い曲です。

(参考資料として、ウィキペディア、加賀城浩光WEBSITE、上智大学ソフィアホール定期プログラムより引用させていただきました。)

♪ 客演指揮者紹介 ♪

新井義輝氏は、明治大学商学部及び東京音楽大学指揮科卒業。音大在学中から各地の市民オペラやオーケストラなど幅広い分野での指揮、指導にあたる一方、新国立劇場、日本オペラ協会などの団体でオペラ指揮者としての経験を積む。ミュージカルの分野でも劇団四季などの上演に携わる。2003年からは国内外で活躍するプロ音楽家で結成したプロ音楽集団「チェンバーミュージックハウス」を主宰。その他オペラ演出やマンドリン音楽の作曲・編曲も手掛けるなど、積極的に活動の幅を拡げている。指揮を三石精一、久保田孝の各氏に師事。

♪ 独奏者紹介 ♪

矢澤一彦氏は、東京芸術大学卒業。ベルギー王立ブリュッセル音楽院で名ピアニスト、エフゲニー・モギレフスキーに8年半にわたり師事。満場一致の優秀な成績で卒業。マルサラ、アンドラ、オルレ안의各国際コンクールで入賞。2005年帰国。現在までにリサイタルや協奏曲、夫妻によるコンサートなど、90回以上出演し、各誌の演奏会評でも絶賛される。

東京芸術大学付属高校非常勤講師、全日本ピアノ指導者協会正会員、日本・ロシア音楽家協会会員、相模原音楽家連盟会員。

♪ 活動レポート ♪

- 2011年 10月22日(土) 第27回定期演奏会 (グリーンホール相模大野大ホール)
- 2012年 3月4日(日) 大野中公民館まつり参加 (大野中公民館)
- 4月15日(日) 第30回神奈川マンドリンフェスティバル参加 (栄公会堂)
- 5月26日(土) 2012年度定期総会(総合学習センター)
- 7月10日(火) 大野中ふれあい学級参加 (大野中公民館)
- 9月22日(土)、10月6日(土)、10月21日(日) 終日練習
- 10月27日(土) 第28回定期演奏会 (グリーンホール相模大野大ホール)

♪ 練習風景 ♪



約60名の部員がおり、年齢層も広く、多様な職業に就いている忙しい人の集まりです。月3回の練習は、平均80%以上の高い参加率で、マンドリン音楽を楽しんでいます。夫婦参加の部員もおります。皆さんも仲間に入り演奏してみませんか。お待ちしております。

♪ メンバーの紹介 ♪

Conductor 宮本 皓永 新井 義輝

Piano 矢澤 一彦

◎トップ ○サブトップ ☆賛助出演

1st Mandolin	◎窪田成子 梅澤典子 仁尾眞里	○山崎了三 大矢利夫 舟田徳徳	藍澤桃子 川崎紘子 木田絹子	綾部文子 桑田久美子 吉野昌重	石本友子 長沼美智子
2nd Mandolin	◎中重亜由美 後藤ケイ子 福谷隆治	○金澤葉子 田嶋稔一 渡辺礼子	饗庭裕子 戸田節子	大沼和江 長澤直子	京増万由美 樋口三朗
Mandola	◎寺田美千代 小竹義範 宮下和子	○野沢孝広 末永浩二 吉岡直美	池田百合子 笛木和美	大熊友子 峯田福代	小竹由美 三村乃之
Mandolon-cello	◎井上昌子 藤田尚美	○錦戸民子 古田栄治	飯田正男 宮本皓永	市川久美子	小澤健二郎
Guitar	◎中西茂樹 中嶋捷生 和田真紀子	○吉田真紀子 新田美佐子	池上由子 原田治	加登文子 宮本紀子	田中厚子 柳生秀人
Contrabass	◎錦戸雅子	○鈴木保彦	☆佐藤文俊		
Flute	☆鈴木沙織				
Oboe	☆高野了輔				
Timpani	☆清田裕里江				
Percussion	☆入川奨	☆池上秀太	☆横内諒		

司会 ☆矢崎ひとみ
ステージ・マネージャー 田嶋稔一 ☆坂井和彦

部長 小澤健二郎
マネージャー 後藤ケイ子 野沢孝広 飯田正男 鈴木保彦
技術委員長 山崎了三
技術副委員長 井上昌子

♪ 第 29 回 (2013 年) 定期演奏会の予定 ♪

開催予定 2013 年 10 月 26 日 (土)

詳細はウェブサイト (<http://www.geocities.jp/sagamiharamc/>) に掲載致します。

相模原マンドリン倶楽部

問い合わせ先 小澤健二郎